

## 米、シリアでの更なる「英雄的な」ホワイトヘルメット団支持を表明

【訳者注】欧米のやり方がいかに鉄面皮で、世界をなめ切っているかが、これでよくわかるであろう。トランプは昨年、シリアから米軍を撤退させたとき、「ホワイトヘルメット団」への援助も打ち切った。それが1か月後、復活したというのは、トランプがうまく騙されたか、諦めたかであろう。この有名な偽善団についてはここでよく取り上げている。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180914.pdf> は、その最新のものである。

これを取り上げたのは、この写真が大きな動機である。これは報道写真として秀逸ではなからうか？ こっちを向いている2人に、吹き出しをつけて喋らせればこうなるだろう：——「おまえ何しにここへ来た、さっさと帰れ。おまえらのやることに、世界中がいつまでも騙されると思っているのか！」この背中マークはよく目立ち、ほとんどのシリアに関するNHKニュースで、これが映っていた。これからまた映るのだろうか？ 気をつけて見ていていただきたい。

RT

March 14, 2019



シリアの「ホワイトヘルメット団」活動家（背中のマーク）：ロイター

トランプ政権は、「ホワイトヘルメット団」の支持を再び固めつつある。これは自ら防衛市

民団体と称する団体で、シリアの軍事的に占領された地域で、しばしば論争の多い活動をしているが、ある会議で、アメリカから 500 万ドルの寄付を受ける約束を得たものである。

この寄付の通告がなされたのは、「反イスラム国同盟」の米特別使節 James Jeffrey によるもので、ブリュッセルで行われた、第 3 回「シリアとその領域の未来を支援する会議」においてであった。

この 500 万ドルが援助する対象は、ホワイトヘルメット団による「極めて重要な、命を救う活動」と、「国際、公平、独立機構」(IIIM) の 2 つであり、後者は、2016 年後半に創設された国連団体で、2011 年以後のシリアの残虐行為といわれるものを調査する——しかし起訴はしない——ためのものだ。<https://iiim.un.org/mandate/>

RT.com による別資料——「ホワイトヘルメット団が、イドリブの“化学攻撃” フェイク劇で使う子供たちを盗む」<https://www.rt.com/op-ed/438645-children-kidnapped-idlib-syria/>

この支持を正当化するために、米務省報道官 Robert Palladino はこう主張した：——ホワイトヘルメット団の「英雄的な最初の報告者たち」は、シリア紛争が始まって以来、11 万 4,000 人以上の人命を救い、そこにはアメリカが、シリア政府の仕業だとしている「邪悪な化学兵器攻撃」の犠牲者も含まれる。しかしパラディーノの声明は、この集団が活動しているのは「もっぱらこの政権の統制外の領域」に限ると認めた。

<https://www.state.gov/r/pa/prs/ps/2019/03/290363.htm>

トランプ政権は、2018 年 5 月に、ホワイトヘルメット団への支援を打ち切ることを通告したが、そのほんの 1 か月後に、方針を逆転させ、680 万ドルをこの集団に送った。

<https://www.rt.com/usa/429787-us-white-helmets-funding/>

シリア政府は、ホワイトヘルメット団が、さまざまなイスラム主義反逆団体と結託していると繰り返し非難し、ロシアは、この集団が、化学攻撃といわれるものを演技させてきたことを非難し、それは米軍が、シリアへの軍事介入の口実をつくるためだと言ってきた。

ホワイトヘルメット団が反政府戦闘団体と結び合い、臓器摘出とか、子供を危険にさらすような他の残虐行為に関わってきた証拠は、12 月に国連に提出された。

<https://www.rt.com/usa/429787-us-white-helmets-funding/>

——以上